

事業所名

まかろんキッズ名島教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

26 日

法人（事業所）理念	福祉業界の笑顔革命					
支援方針	運動を通じて子どもの自信と主体性を伸ばす					
営業時間	11 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	子どもの持つ身体機能（姿勢や走る動作、手先の動きなど）向上を図り、日常生活に必要な食事、排泄、着替えなどの動作能力の向上を図っていきます。事業所内の環境を構造化することで、片付けや荷物の準備の習慣化を図ります。				
	運動・感覚	感覚統合理論に基づき、全身運動や集団遊びを通して、子どもの身体が求める感覚を刺激し、年齢相応に必要な身体の機能の向上を図ります。学校体育で行われる鉄棒やマット運動、跳び箱などに加え、走る、飛ぶ、回るなどの全身運動を通して、自己肯定感の向上を図ります。感覚特性に応じて、感覚遊びなどを交えながら感覚刺激の調整を図ります。				
	認知・行動	感覚統合理論に基づき、触覚刺激や固有感覚、前庭感覚の刺激に加え、視覚的認知を促しながら年齢相応の日常生活能力の向上を図ります。行動問題や行動障害の予防的目的として、模倣などを用いて他者理解を図っていきます。出来る遊びや運動を通して、成功体験を増やし自己効力感を養っていきます。				
	言語コミュニケーション	言語でのコミュニケーションに加えて、机上課題を通して、ひらがな、カタカナ、漢字文字の読み書き訓練を行い能力の向上を図ります。非言語コミュニケーション能力向上を目的とした模倣運動などを取り入れて、他者理解を意識したコミュニケーション能力の向上を図ります。指差しやマカトンサイン、視覚的情報を用いてコミュニケーション理解を促します。				
	人間関係社会性	模倣課題などを用いて、身体を通して他者理解を促します。感覚統合理論とレクリエーション等の集団遊びを通して、一人遊びから段階的に連合遊びへと繋げていきます。また、児童の発達年齢に合わせて、機能遊び、象徴遊び、ルール遊びと大人が介入しながら段階的に発達を促します。				
家族支援	家族からの相談や悩みに対しての助言 ご自宅や学校でのサポート方法の提案 家族の休息、リフレッシュ				移行支援	移行先みスムーズに馴染むために必要な発達の評価を実施します。 移行先についての相談援助等を実施します。
地域支援・地域連携	学校での担当者会議や情報共有等の実施、支援内容に関する共有の実施。 関連事業者との幅広いネットワークを構築し、ライフステージに応じた児童の発達に関わる事業者との連携を図ります。				職員の質の向上	職員研修の実施（動画による自主研修）（社内研修：ガイドライン、虐待や感染等の法定研修、支援の考え方や行動問題の捉え方、専門的手法を用いた支援等）（社外研修：外部講師による専門的手法を用いた支援等）
主な行事等	季節に合わせた行事（正月、節分、夏祭り、クリスマス会等） 施設見学や体験活動（近隣の社会資源）					